

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第2回武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会
開 催 日 時	平成28年7月21日（木）午後1時15分～午後2時30分
開 催 場 所	市民会館会議室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：堀口委員、成田委員、下田委員、指田委員、福田委員、栗岩委員、鈴木委員、清水委員、波多野委員、渡辺委員、高橋委員 事務局：健康推進課長、予防G主査、健康推進G主査、栄養・歯科G主査、栄養・歯科G主任、健康推進G主任、委託業者2名
議 題	1 前回会議の未承認事項について 2 重点的に取り組むべき課題について 3 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1について： ・目次の章立ては別案②を基本に、第3章の節の並び、重複部分を精査するとともに、題名を再考し、計画名等を事務局で調整した上で、次回会議で示す。 ・上記を踏まえた概念図を作成し、第1章第1節をあわせて協議する。 ・実施計画の作成について、次回会議で市の考え方を示す。 議題2について： ・課題と根拠を入れた一覧表を作成して、それを基に課題を整理する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)	1 報告 (1) 第1回武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会会議結果について (事務局) 資料1「第1回武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画策定懇談会会議録」について説明 (座 長) 資料1の会議録について了承でよいか。 (全 員) 異議なし。 (2) その他 (事務局) 報告事項のその他について事務局からは特になし。 2 議題 (1) 前回会議の未承認事項について (事務局) 資料2「武蔵村山市第二次健康増進計画・食育推進計画目次案」について説明 －質疑・意見等－ (座 長) 資料1の会議録では武蔵村山健康増進計画・食育推進計画骨子(案)についてと書いてあるが、本日の資料2には母子保健計画という文字が入っている。前回、母子保健計画について議論した記憶がない。市として、3つの計画を一緒にするという方向で進めていくのか確認したい。 (事務局) 前回の会議では母子保健を含むかどうかの議論はなかった。現行の健康増進計画の中に母子保健計画も含まれた形になっており、次期計画でも同様に位置付けていきたいと考えているが、表題に列記してしまっている点は訂正したい。 (座 長) 表題に関しては武蔵村山健康増進計画・食育推進計画でよいか。

- (事務局) その通りである。
- (座長) 目次が前回提示案に加え2案示されているが、折衷案も含めて、どれがよいか。
- (委員) 事務局から説明のあったように健康づくりは「口から」身体をつくるという流れであれば、別案②がよいのではないかと。
- (委員) 別案②は目的がはっきりとしてよいのではないかと。市のやりたいことが並列になっているので分かりやすい。食育や母子保健の推進は第3章に共通した部分もあるので、章立てする必要はない気がする。
- (座長) 前回提示案では第5節に母子保健の推進があるが、別案②の第3節のライフステージに組み込んだほうがすっきりするという御意見だと思う。それについてどうか。
- (委員) 別案②がよいと思う。第3節に母子保健の推進を組み込むことについては、事務局として別立てにしたいのではないかと。
- (事務局) 武蔵村山市は子育て支援について、切れ目のない支援ということで力を入れている。事務局としては、できれば別立てしたいと考えている。
- (座長) 資料3の中に、武蔵村山市は子どものいる世帯の割合が全国や東京の平均より高いということから強調したいという考えなのか。
- (事務局) 子育てしやすいまちのランキングで、武蔵村山市は上位になっていることもある。
- (委員) 別案①でも②でもよいと思う。事務局の主旨を最大限入れた方がよい。
- (委員) 母子保健の推進を別立てにするのはよいと思うが、第3章の節の順番を変えて、ライフステージの次に来るほうがよいのではないかと。また、母子という表現について配慮が必要ではないかと。
- (座長) 最近親子という表現を使うこともある。
- (委員) 私も別案②がよいと思うが、その場合、計画のタイトルの並びが「食育推進計画・健康増進計画」となっているほうが自然ではないかと。
- (委員) 母子保健計画を別立てするのが章ではなく節でよいならば、私も別案②がよいと思う。
- (委員) 私も別案②がよいと思うが、第3章のタイトルを「具体的な施策」ではなく「健康づくりの推進」と変えたほうがよい。また、第2節「生活習慣の改善」と第4節「主な生活習慣病の発症及び重症化の予防」は続いていたほうがよいと感じる。
- (委員) 前回の会議の内容から食育の議論を深めていくのだろうという頭でいたので、会議に参加する上では別案①の方が話しやすい。目次としては別案②がよいが、第3章でまとまる項目があるならば節の中でまとめてしまう方が見やすくなると思う。
- (委員) 章立てとしては別案②が一番見やすいと思うが、第3章のタイトルに具体性がないのが気になる。第3章の内容が目次を上から見ていかないと分からないのでタイトルを変えた方がよい。また、5つの節の中でリンクする項目が分かれているので、まとめた方がよいと思う。計画のタイトルも、口からということならば「食育推進計画・健康増進計画」の順番にすればすっきりすると思う。
- (副座長) 私も別案②の方が流れが分かりやすいと思うが、第3章の節の

並びは変えたほうがよい。

(座 長) 皆様の御意見を踏まえ、別案②の章の立て方としたい。ただし、食育から始まるということならば、第3章のタイトルを「食育・健康づくりの推進」などとする。そうすると計画のタイトルも「食育推進計画・健康増進計画」など整合させる。また、国が「すこやか親子」としているように、母子保健という表現にも気をつけてほしい。更に、第3章の節の並び方を、第2節と第4節、第3節と第5節を並べ、節の中で重なっている部分があるので、文言をきれいにして、はっきりと分かるようにしてほしい。修正した目次案を再度提示してもらい、皆様の承認を受けたいと思う。次回は、目次検討表の最新案と、他の計画との関連等も分かる概念図を出していただきたい。また、第1章の第1節は本日の資料3と資料4の武蔵村山市の状況を踏まえた文章を提出してほしい。

前回の積み残しとして、武蔵村山市健康・食育に関する市民意識調査の地区別クロス集計表を出してもらったので、事務局に御説明をお願いしたい。

(事務局) 資料5-2「武蔵村山市健康・食育に関する市民意識調査（5地区別クロス集計表【抜粋】）」について説明。

(座 長) 妊婦と乳幼児健診受診者の緑が丘の人数が少ないということは、緑が丘は妊婦も乳幼児がいる世帯も少ないことが特徴ではないか。小学生も35名で最も少ないので、子どもたちが少ない地域と言えるのではないか。また、市民調査の問5をみると国民健康保険の人が全体の7割を超えており、問6の世帯年収をみると200万円未満が多く、問7でも無職の割合が多いという状況が見て取れる。つまり、親子の健康づくりの推進や食育に関する子どもたちへの取組を考える際には、子どもが多い地域への対策を考える必要があるのではないか。

(事務局) 緑が丘は回答者数自体が少なかったこともあるが、小中学校の児童数が増えている地区に比べれば減少傾向にあるといえる。

(座 長) 地区別のデータを見ていかがか。

(委 員) 地域によって違いがあると思った。

(委 員) 多少差異はあるにしても、このアンケートの数字は大体正しいのではないかと感じた。気になったのは、地域で行われている行事への参加状況にかなり差が出ていることである。これは市の行っている施策や事業に対しても同じような傾向になるのではないかと思うので、参考になるデータではないか。地域の行事に参加しているに対して「あてはまらない」が多いのは、残堀、伊奈平、三ツ藤や榎、学園、大南といったいわゆる新しい住民が多い印象のある地域である。一方、緑が丘は他の地域に比べて積極的に参加している方が多いことは大きな違いだと思う。

(座 長) 確かにそれは大きな違いといえる。働いている人は定期的な健康診断を受けていない割合が高いが、職場で受けている可能性があり、それが残堀、伊奈平、三ツ藤に当てはまるのか。がん検診も残堀、伊奈平、三ツ藤は受診率が低いが、職場の検診は受けていてもがん検診は受けていないのではないかという感じに受けとれる。食育への関心がない人もこの地区が最も多い。計画の骨子に沿って中身を検討する際には、この地区の差を配慮しなければいけないのではないかと感じたが、実際に住んで

	<p>いる方はどう感じるか。</p> <p>(委 員) 学園、大南は新しく引っ越して来て、幼稚園や小中学生の子どものいる家庭が多いが、三ツ藤はあまり子どもがいないため、食育に関心がないという数字になったのではないか。</p> <p>(委 員) 学園、大南は駅からのアクセスがよく通勤のしやすい地区なので、新しい住民が多い。地域行事への参加については、神社がある神明や三ツ木はもともと行事などには参加するものという意識が強い。また、公園のある地域は NPO などが朝の体操を行っており、参加率が上がっている気がする。そういう意味でも公園は大事で、先日の子育て世代のタウンミーティングでも、子どもの健康のために公園の遊具についての意見が出ており、健康づくりとして公園を捉えていると感じた。</p> <p>(委 員) あまり地域性は感じないが、地区によっては自治会の構成員が少なく苦労しているという話もある。</p> <p>(委 員) 健康診断を受けている人はがん検診も受ける傾向にあるのではないか。</p> <p>(委 員) そもそもこの計画の役割についてであるが。市民に広く配布して健康づくりや食育を呼びかけるものならば、地域ごとの特色を生かしたコミュニケーションのツールのような形で発信するものなのか。このアンケートの結果からそこまで掘り下げれば、方向性を決めた上で検討した方がいいと思う。</p> <p>(座 長) 例えば、認知症や介護予防の話になった場合、健康増進計画で扱うかどうかについては概念図がないと分からないので、次回きちんと示していただいて、この場で合意を得られるようにしたい。地域については、すべてにおいて特徴があるわけではないので、重点課題などをピックアップする際に、配慮が必要な地域においては、その項目の中で触れることになるのではないか。健康増進計画は、健康増進法の中で努力義務として市町村が作るようになっており、なかには実施計画を作っている市町村もある。武蔵村山市は実施計画を作る前提でこの計画を作るのか、作らないことが前提なのかを次回の会議で回答をいただきたい。その回答によって計画の中身を決めていくことでよいか。</p> <p>(全 員) それでよい。</p> <p>(2) 重点的に取り組むべき課題について</p> <p>(座 長) この章立ては本日の議論の結果から組み替える必要があるので、この資料で議論をすることは混乱を招く可能性がある。これはどのような経緯ででてきたものか説明してから、資料を説明してほしい。</p> <p>(事務局) 担当の職員の間から見た課題である。</p> <p>(座 長) 職員が感じている課題と、市民意識調査結果から見える課題がある。章立ても変わるので、まずはこの課題を並列に並べて、根拠を入れた表がほしい。例えば、市民意識調査の間番号や、データはないが職員が事業を行っている中で聞こえてくる声など、根拠を入れた一覧表を作ってほしい。その表の中から削除してもいい課題とこの会議の中から付け加えられる課題を出し、それを骨子案に沿ってはめていくのが最も効率よく進められる方法だと思う。実施計画を作るかどうかにもよるので、方向性が決まった上で話をしたほうがいいと思う。きちんと議論</p>
--	---

	<p>ができる状況で効率よく進めていきたいが、それでよいか。</p> <p>(全 員) それでよい。</p> <p>(副座長) 地区別の結果が議論されたが、男女や年代でも違いがある。地域による回答者の性別・年代分布も分かったほうがよいので、付け加えてほしい。</p> <p>(委 員) 母数をはっきり分かる表にしてほしい。</p> <p>(3)その他 (事務局) 資料7「次回以降の会議の開催日程」について説明。</p>
--	--

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 ()	傍聴者： <u>0</u> 人
-------------	---	-----------------

会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：)
--------------	---

庶務担当課	健康福祉部 健康推進課 (042-564-5421)
-------	----------------------------

(日本工業規格A列4番)